

科目名		経営管理論Ⅱ (Management TheoryⅡ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第3学年	経営情報学科	履修	1単位	—	講義	後期 90分/週	30時間		
担当教員		【非常勤】川村 一真 (【副担当】松野 成悟)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル		(1)企業における経営管理の機能と技術について理解できる。 (2)経営管理に関する古典理論や有力な諸学説を説明できる。 (3)企業における経営管理上の今日的な状況を考察し課題を論じることができる。							
学習・教育目標		(C)②		JABEE基準1(2)		—			
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目		経営管理論Ⅰ							
教科書		教科書は用いない。参考書として経営管理(塩次喜代明など、有斐閣)、経験から学ぶ経営学入門(上林憲雄など、有斐閣)を用いるほか、講義中に適宜紹介する。							
補助教材等		プリント							
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	総合評価割合	50	50						100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎							/
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>本授業は、経営管理論の成立と歴史的な展開について、有力な学説の紹介と解説および吟味をおこない、経営管理の基本的な機能と方法について学習する。また、経営組織論や経営戦略論の研究成果を踏まえ、環境適応や組織変革、グローバル戦略や現代日本の経営管理など、最新の研究領域も積極的にとりあげ、企業における経営管理の今日的な課題についても検討する。</p>									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	組織構造の設計と環境適応①	・組織構造の設計理念と諸特徴の概要を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
3	組織構造の設計と環境適応②	・職能部制組織の特徴と問題点を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
4	組織構造の設計と環境適応③	・事業部制組織の特徴と問題点を、カンパニー制も含めて理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
5	組織構造の設計と環境適応④	・マトリクス組織やプロジェクト・チームについて理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
6	モチベーションと組織活性化①	・人間関係論と行動科学、人的資源管理論を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
7	モチベーションと組織活性化②	・代表的な動機づけ理論について、欲求理論を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
8	中 間 試 験		
9	答案返却・解答解説 モチベーションと組織活性化③	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・代表的な動機づけ理論について、期待理論を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
10	日本における経営管理①	・日本の経営の成立とその背景を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
11	日本における経営管理②	・日本の経営の特徴と限界を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
12	日本における経営管理③	・企業活動のグローバル化と日本の経営の今日的な変容を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
13	日本における経営管理④	・競争戦略の基本的な概念を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
14	日本における経営管理⑤	・グローバルな競争の激化と戦略的提携、および組織間関係の管理を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間